



オリンピックの集い

平成26年度 オリンピアン集い(ゴルフ大会)

日時：2014年7月27日(日) 会場：森林公園ゴルフ倶楽部(埼玉県)

スポーツでのオリンピック相互の交流を目的として始まった『オリンピック集い(ゴルフ大会)』も今年で6回目となりました。

今回は総勢30名のオリンピックにご参加いただき、ゴルフコンペではモントリオール大会、モスクワ大会代表の植田元さん(馬術)が優勝に輝きました。

午後から天候が荒れてしまい、ハーフのみのラウンドとなってしまいましたが、その後に開催した懇親会では、参加者の皆様からスピーチをしていただくなど、参加大会・競技の垣根を越えて、オリンピック相互の交流がさらに深まった素晴らしい集いとなりました。



平成26年度 オリンピアン集い(北海道)

日時：2014年11月8日(土) 会場：札幌グランドホテル(北海道)



北海道札幌市の札幌グランドホテルにて、「平成26年度オリンピック集い」を開催しました。

これまでに開催してきた福岡・名古屋・仙台会場に続き4会場目となる地方開催のオリンピック集いは、北海道にお住まいの方や、ご出身の方など、さまざまな世代・競技のオリンピックの方々にお越しいただきました。

会は、鈴木大地会長の開会の挨拶にはじまり、三宅副会長による乾杯、その後歓談となりました。歓談中には、ご出席いただいた皆様に近況等をスピーチしていただき、皆様の大変貴重なお話を伺いました。

最後に本会の早田卓次理事長による中締め挨拶を行い、盛会のうちに終了いたしました。

今後もこの「オリンピック集い」の地方開催を続けてまいりますので、引き続き多くの方々のご参加をお待ちしております。



ソフトボール教室

滋賀県長浜市／平成26年9月15日

共催 上草野地区地域づくり協議会
会場 長浜市上草小学校

講師に、松本直美さん(アトランタ大会、シドニー大会出場)を迎え、中学生女子58名が参加しました。



バレーボール教室

北海道標津町／平成26年9月27日

共催 NPO法人標津スポーツクラブずぼっと
会場 標津町総合体育館(北海道)

講師に、佐伯美香さん(アトランタ大会、シドニー大会、北京大会出場)と齋藤信治さん(北京大会出場)を迎え、小学生から中学生まで計56名が参加しました。



テニス教室

東京都中野区／平成26年12月6日

共催 日本体育施設グループ
会場 中野区立哲学堂公園テニスコート

講師に、岩淵聡さん(アトランタ大会、シドニー大会出場)をお迎えし、50名の小・中学生が参加しました。



陸上教室

福岡県北九州市／平成26年12月21日

共催 スポーツパークパートナーズ本城
会場 北九州市本城陸上競技場

講師に、横田真人さん(ロンドン大会出場)を迎え38名の子どもたちが参加しました。



バレーボール教室

兵庫県芦屋市／平成26年12月23日

共催 特定非営利活動法人芦屋市体育協会
会場 芦屋市青少年センター体育館

講師に、坂本清美さん(アトランタ大会出場)、山内美加さん(バルセロナ大会、アトランタ大会出場)、杉山祥子さん(アテネ大会、北京大会出場)と本会の森田淳悟常務理事(メキシコシティー大会、ミュンヘン大会出場)を迎え、88名の子どもたちが参加しました。



東京大学の授業にオリンピックが参画

本会では、昨年秋からの半年間「2020年東京オリンピック・パラリンピックを市民参加でブランドデザインする」をテーマにした東京大学の授業に本会のオリンピックを派遣し協力をしてきました。10回の授業の内、3回にわたりオリンピックがスピーチやグループディスカッションに参加し、最後の学生によるプレゼンテーションに審査員を務めた竹田名誉会長も、「実際にIOCへ提出する開催基本計画に参考になるアイデアがいくつもあった」と言うぐらい斬新な発表がありました。

《ご協力いただいたオリンピックの方々》 敬称略

猪谷千春、早田卓次、森田淳悟、小谷実可子、宮部行範、荻原次晴、千葉真子、水鳥寿思、柴田亜衣



オリンピックの人間力

「オリンピックの人間力」では、まなざしの奥に潜在するオリンピックの人間力に迫ります。このインタビューは、OAJウェブサイト(<http://www.oaj.jp>)でご覧いただけます。
(文：田中清行)



写真提供：フォート・キシモト

私にはできる、 ここ一番では自分にそう言い聞かせて集中します。

第29回
くぼはなえ
久保英恵
アイスホッケー／ソチ

昨年のソチ冬季オリンピックに四大会ぶりに出場した女子アイスホッケーチーム。過去二大会予選では惜敗に泣いた。日本代表に復帰した久保の活躍が光りソチ出場を果たす。大会では八位。日本のポイントゲッターであり「氷上のスナイパー」の異名を持つ一方、「スマイルジャパン」の主力としての慌てず焦らずポジティブシンキングの所作には風格も漂う。立春も過ぎた雪降る日、以前ここで仕事をしていたんですよとの東伏見のダイドードリンコアイスアリーナでお話を伺いました。

小さい時に始めたアイスホッケーですが、中学一年では女子社会人の岩倉ペリグリンというクラブチームに入りました。そのチームの監督にアイスホッケーとは何かを初めてきちんと教えていただいたように思います。ただバックをゴールに運べばいいと考えていた子供のアイスホッケーを、システムティックにチームプレーとして組立てる大人のそれへと引き上げてもらいました。

その監督とは長野オリンピック女子チーム監督の板橋亨(当時五十一歳)さんです。アイスホッケーに対する研究熱心さが凄くて、メンバーには一人ひとりここを伸ばせ、ここを直せと細かに指導する一方、次の対戦相手の攻略法はこうするとか、丁寧に指示を出されていました。夜七時半に始まる一時間半の練習でしたが、三分の一に当たる三十分位が監督の注意や話で占められることもよくありました。練習メニューにしてもきちんと丁寧に説明し、さらにその後個別に指導するという感じでした。プレー中でも躊躇なく止めて、ここはこうなくちゃダメだと、タイムリーに指導されていました。

昔は足が遅かったのですが、この場面ではもっと速く走らなきゃダメだとかこういうコースを行かなきゃダメだとかと、私もよく叱られました。練習中の声が出てないとか、システムのコミュニケーションの

声が出てないとかでも怒られました。「モロシカリヤリヨ(もっとしっかりやれよ)」と注意しておられるのですが、言葉が口内にももりもろモゴモゴ言っている感じで、ちょっと聞き取りにくい時もある、独特の口調でした。練習後には監督の口癖のマネをしたりしました(笑)。監督、すみません(笑)。最後にお会いしたのは二、三年前です。今も苦小牧におられると思います。

アイスホッケー人生も二十年になろうとしていますからいろいろありましたが、オリンピックは小さい時から抱き続けた夢でした。途中からはお世話になった人や両親に出場することで恩返しをしたいと思うようにもなりました。トリノオリンピック大会の予選時は、自分のモチベーションもパフォーマンスも一番いい時で、自分でも自信があったし、リーダー格として引っ張らなくてはいけない責任も強く感じていたのですが、残念ながら負けちゃって、その時ばかりは今まで何をやってきたのだろうと、無力感、徒労感に襲われました。それでも目の前にある次の試合を目標に地道に階段を上ることを心がけ、努力を続けました。次のバンクーバーオリンピック大会の予選では、日本代表に呼ばれず、それでもクサらず、SEIBUプリンセス・ラビッツ三連覇を果たしそれなりに結果は出していたのですが、それでも結局代表に復帰できず、万感胸に沈めて2010年引退を決意

しました。

故郷の苦小牧に戻って、知人が運営するクラブチームのコーチをしていたところ、日本アイスホッケー連盟副会長(当時)の若林仁さんが苦小牧まで会いに来ていただきました。「英(ハナ)がいないと日本は勝てないから戻って来てくれ」と。私は、ありがたいのですが、「その気はありません」と固辞し続けました。

その後、引退から一年半ぶりに現役復帰をしました。ラビッツに改めて入れてもらったシーズン途中からの出直しでした。体力づくりからの再始動でしたが、不思議にアイスホッケーを素直に楽しむことができました。片方にはみんなの刺激になればいいという感じもありました。復帰最初の試合が全日本選手権で、その二ヵ月後には全日本に戻ることができました。心中は嬉しさとは完全には戻っていないプレーへの不安とが相半ば。その後のソチオリンピック予選では得点やアシストを重ねることができ五輪出場に貢献できました。しみじみ若林さんのお声掛けに感謝し、それに応えることができホッとしたのを覚えています。

五輪予選とは違う格上のチームや選手との戦い方を実感したソチ大会の経験を踏まえて、これから一年一年、自分をさらに鍛えて行きたいと思っています。



オリンピック：久保英恵(くぼはなえ)

1982年北海道苦小牧市生まれ。女子アイスホッケー選手。4歳で始めたアイスホッケーはフォワードとしてぐんぐん上達。中学時に日本代表入り。岩倉ペリグリン、カナダのオークビルアイス、現在のSEIBUプリンセス・ラビッツと各所属チームで活躍。三大会連続の五輪不出場後、昨年の待望のソチ大会出場の原動力となる。日本代表試合得点歴代一位。太陽生命保険勤務。



サッカー教室

青森県青森市／平成26年8月3日

共催 スポルト青い森グループ
会場 青森県立総合運動公園陸上競技場

講師に、大竹七未さん(アトランタ大会出場)と、宮本ともみさん(アテネ大会出場)を迎え、小学生から高校生まで70名が参加しました。



アイスホッケー教室

青森県青森市／平成26年10月18日

共催 豊産管理株式会社
会場 サンワアリーナ青森

講師に、坂上智子さん(ソチ大会出場)、飯塚祐司さん(ソチ大会女子代表監督)と本会の坂井寿如監事(長野大会出場)を迎え、35名の小学生が参加しました。



柔道教室

北海道中標津町／平成26年11月1日

共催 財団法人中標津町文化スポーツ振興財団
会場 中標津町武道館

講師に、越野忠則さん(バルセロナ大会出場)、佐藤愛子さん(北京大会出場)と本会の田辺陽子理事(バルセロナ大会、アトランタ大会出場)を迎え、46名が参加しました。



バドミントン教室

宮城県仙台市／平成26年11月30日

共催 仙台市公園緑地協会
会場 仙台市七北田公園体育館

講師に、岩城ハルミさん(バルセロナ大会出場)さんと、水井妃佐子さん(バルセロナ大会、アトランタ大会出場)を迎え、中学生90名が参加しました。



卓球教室

埼玉県深谷市／平成26年12月7日

共催 公益財団法人深谷市地域振興財団
会場 深谷市総合体育館

講師に、渡辺武弘さん(ソウル大会、バルセロナ大会出場)、斎藤清さん(ソウル大会出場)を迎え、小学生から高校生まで284名が参加しました。

